

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	九州大学(伊都)国際化拠点図書館	階数	地上2F地下4F
建設地	福岡県福岡市西区大字元岡744番	構造	SRC造
用途地域	第一種住居地域、一部第一種中高	平均居住人員	1,500 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2015年8月21日
敷地面積	422,316 m ²	作成者	㈱石本建築事務所 猪平俊介
建築面積	11,310 m ²	確認日	2015年8月21日
延床面積	26,811 m ²	確認者	㈱石本建築事務所 猪平俊介



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 92% ③上記+②以外の 92% ④上記+ 92%</p> <p>0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。周囲と合わせたタイル貼の外観とするとともに、屋上緑化等の緑化を積極的に行い、周辺環境に配慮した建築計画とします。また、大空間や小部屋等の室ごとに適切な空調方式を選択し、省エネルギーに努めた設備計画とします。</p>	<p>その他</p> <p>-</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。吹抜け最下階においては床輻射方式としブリッジ部分には床吹出し方式を採用し、居住域温度に配慮しています</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。空調方式については、個別空調をガス熱源とし中央管理空調を電気熱源とする事で熱源の分散化に配慮しています</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。外気性能が基準値: 486MJ/(m²・年)に対し設計値: 381MJ/(m²・年)(78%)となり、一次消費エネルギー量が基準値: 43157.9GJ/年に対し設計値38283.6GJ/年(89%)と</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。キャンパス全体での雑排水処理施設を設置しトイレ洗浄水として供給する方式としています。</p>
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。キャンパスカラーに合った外観計画、植栽による景観形成を行っています。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。広告物照明等をつけず、光害の抑制に配慮した計画とします。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される